

## 第9回 衛生薬学担当教員会議 議事録

日時：平成27年2月27日（金）13:30～17:30

場所：ホテル・グランヴェール岐山（岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地）

平成27年1月27日にご逝去された大阪大谷大学・関 庚善教授のご冥福を祈り、黙祷を捧げた。

委員長挨拶 永瀬 久光（岐阜薬科大学）

委員長より、幹事の紹介、配布資料（①会議次第、②出席者名簿、③座席表、④新コアカリキュラム実施に伴う衛生薬学系教科の対応に関するアンケート調査結果、⑤アンケート参考資料、⑥北垣先生の講演資料）の確認、会場に関するお知らせ、日程の確認があった。また、今回急遽アンケート調査をすることになった経緯が報告された。

### 議事

#### 1. 衛生薬学における新コアカリキュラムについての対応（協議）

##### 1) 新コアカリキュラムの実施に向けて 太田 茂 先生（広島大）

太田先生には、1カ月後の平成27年4月には新コアカリがスタートするので、各大学での対応は完了していることを前提にして、2月10日に公表になった実務実習の新コアカリに関する「薬学実務実習に関するガイドライン」を中心にお話しいただいた。要点は以下のようである。

新コアカリは、薬学教育と実務実習のコアカリを一本化し、薬剤師に求められる10の資質を明示し、それらの資質を身に付けるために学ぶものになっている。卒業時にこれらの資質が身に付いているかが、教育評価の対象となる。所謂、学習成果基盤型教育(outcome based education:OBE)となっている。設定されたSBOやGIOを達成することによって、10の資質が学習成果として得られるようになっている。

薬学臨床、即ち実務実習と他の領域を体系的に関連付けた教育を行う必要がある。例えば衛生薬学でいえば、消毒、栄養指導などで連携した教育を行うことになる。

コアカリに基づく教育は7割程度とし、残り3割は大学独自の教育を行う。アドバンストはコアカリには含まれない。

##### 2) アンケート集計結果の報告 永瀬 久光（岐阜薬大）

資料（新コアカリキュラム実施に伴う衛生薬学系教科の対応に関するアンケート調査結果）に基づいて説明があった。

「設問2. 新コアカリへの移行に伴い、衛生薬学系科目の中で「削除した科目」と「追加した科目」、および「科目数の増減、コマ数の増減」についてお書きください。」では、「変更なし（科目数、コマ数の増減なし）」が6割を占め、「変更あり」の科目数では増減、それぞれ同じくらいで、単位数では減少が多い傾向があった。要点は以下のようである。

「設問4. 新コアカリへの移行に伴い、衛生薬学系実習科目の内容を変更しますか。変更する場合、変更点とその理由についてお書き下さい。」では、「変更なし」が6割を占め、「変更あり」では内容を縮小する傾向があり、理由は「新コアカリで削除されたから」が多かった。

衛生薬学分野では、今回の新コアカリにより大きな変更を伴う対応はなかったようである。

その後、太田先生の講演、アンケートの報告を踏まえて、質疑応答が行われた。学習成果基盤型教育(OBE)に基づく評価はどのようにすればよいのか、アドバンストの取り扱いをどうするか、実務実習を大学主導で行うとは、具体的にはどう行うのか、新コアカリと薬剤師国家試験との関係、その

他について、活発に意見交換が行われた。

## 2. 我が国の学校における環境衛生管理 ―学校薬剤師と衛生薬学教育に期待すること― (講演)

北垣 邦彦 先生 (文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課)

学校薬剤師がかかわる学校保健管理、教育に携わっておられる文部科学省の北垣調査官に、関連する法規、学校薬剤師の職務、役割、実態、これからの学校薬剤師および衛生薬学教育に期待することなどについてお話しいただいた。

衛生薬学に期待することとして、「より簡便な(学校環境衛生)検査方法の開発及びその方法の周知」、「検査法の同等性評価の結果の公表」を挙げられた。また、薬学教育及び薬学会に期待することとして、「「ゼロリスク」への過度の期待からの脱却」、「専門家の育成及び専門家からの適切情報発信(リスクコミュニケーション)」、「Risk & Benefitについて考えることができる子供・国民の育成」を挙げられた。

## 3. 平成27年度役員について

永瀬委員長より任期の2年を終えたことの挨拶があった。続いて、次期委員長として大阪薬科大学の藤本陽子先生の推挙があり承認された。また、幹事については平成26年度末でご退職になる小島仲夫先生(名城大学)を除く以下の全員留任とすることが承認された。藤本次期委員長から就任の挨拶があった。

藤本 陽子 (大阪薬大) (委員長)、小椋 康光 (千葉大)、鍛冶 利幸 (東京理科大)、永瀬 久光 (岐阜薬大)、永沼 章 (東北大)、中山 和久 (京都大)、姫野 誠一郎 (徳島文理大)

出席者名簿

北垣邦彦	(文部科学省)	室井正志	(武蔵野大学)
永沼章	(東北大学)	小椋康光	(昭和薬科大学)
黄基旭	(東北大学)	阿南弥寿美	(昭和薬科大学)
松沢厚	(東北大学)	大塚文徳	(帝京大学)
田淵明子	(富山大学)	高橋和彦	(横浜薬科大学)
鳥羽陽	(金沢大学)	塩岡信光	(横浜薬科大学)
中山和久	(京都大学)	皆川信子	(新潟薬科大学)
三好伸一	(岡山大学)	酒巻利行	(新潟薬科大学)
太田茂	(広島大学)	木村敏行	(北陸大学)
古武弥一郎	(広島大学)	池田啓一	(北陸大学)
中山守雄	(長崎大学)	小嶋仲夫	(名城大学)
永瀬久光	(岐阜薬科大学)	植田康次	(名城大学)
中西剛	(岐阜薬科大学)	佐伯憲一	(金城学院大学)
吉成浩一	(静岡県立大学)	廣森洋平	(金城学院大学)
根本清光	(静岡県立大学)	佐藤雅彦	(愛知学院大学)
林秀敏	(名古屋市立大学)	原田均	(鈴鹿医療科学大学)
瀧井猛将	(名古屋市立大学)	坂晋	(鈴鹿医療科学大学)
増田園子	(北海道医療大学)	鈴木健二	(立命館大学)
丹保好子	(北海道薬科大学)	渡辺徹志	(京都薬科大学)
田元浩一	(青森大学)	天野富美夫	(大阪薬科大学)
名取泰博	(岩手医科大学)	藤本陽子	(大阪薬科大学)
永田清	(東北薬科大学)	川崎直人	(近畿大学)
押尾茂	(奥羽大学)	上野仁	(摂南大学)
蝦名敬一	(いわき明星大学)	見坂武彦	(大阪大谷大学)
浅野哲	(国際医療福祉大学)	坂崎文俊	(大阪大谷大学)
平野和也	(高崎健康福祉大学)	岡本正志	(神戸学院大学)
工藤なをみ	(城西大学)	山崎裕康	(神戸学院大学)
村橋毅	(日本薬科大学)	津川尚子	(神戸薬科大学)
山本千夏	(東邦大学)	中川公恵	(神戸薬科大学)
榛葉繁紀	(日本大学)	清宮健一	(兵庫医療大学)
加藤孝一	(日本大学)	山下沢	(武庫川女子大学)
鍛冶利幸	(東京理科大学)	川井真好	(姫路獨協大学)
市原学	(東京理科大学)	渡辺雅彦	(就実大学)
足立達美	(千葉科学大学)	徳村彰	(安田女子大学)
光本篤史	(城西国際大学)	杉原成美	(福山大学)
西村哲治	(帝京平成大学)	竹田修三	(広島国際大学)
清野正子	(北里大学)	姫野誠一郎	(徳島文理大学)
今井浩孝	(北里大学)	鈴木真也	(徳島文理大学)
原俊太郎	(昭和大学)	野地裕美	(徳島文理大学香川)
山崎正博	(星薬科大学)	舟橋達也	(松山大学)
平塚明	(東京薬科大学)	戸田晶久	(第一薬科大学)
藤原泰之	(東京薬科大学)	松末公彦	(福岡大学)
早川磨紀男	(東京薬科大学)	出口雄也	(長崎国際大学)
永山敏廣	(明治薬科大学)	武知進士	(崇城大学)
石井一行	(明治薬科大学)	松野康二	(九州保健福祉大学)

第9回 薬学教育協議会・衛生薬学担当教員会議

次 第

日時：平成27年2月27日（金）

13時30分～17時30分

場所：ホテル グランヴェール岐山

鳳凰の間（3階）

委員長挨拶 13時30分～13時40分

永瀬 久光（岐阜薬大）

第1部 13時40分～15時30分

新コアカリキュラムの実施に向けて

太田 茂 先生（広島大）

衛生薬学における新コアカリキュラムについての対応（協議）

アンケート集計結果の報告

<休憩 15時30分～15時50分>

第2部 15時50分～17時00分

我が国の学校における環境衛生管理

－学校薬剤師と衛生薬学教育に期待すること－

北垣 邦彦 先生（文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課）

その他 17時00分～17時30分

衛生試験法について

佐藤 雅彦 先生（愛知学院大）

「衛生試験法・注解2015」について

小椋 康光 先生（昭和薬科大）

意見交換会：17時45分～20時00分

孔雀の間（5階）